

内科学〈リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野〉

担当指導医師

●本院

教授：藤本 穰

准教授：村田 興則

特任准教授：鈴木 悠地

講師：駒ヶ嶺 正嗣

助教：大河原 知治

学修方針（実習概要等）：

1. 基本理念

近年人口の高齢化、慢性疾患の増加、在宅医療の進展等により医療が日常生活の中に組み込まれ、医師は専門分野の疾患を治療するのみでなく、患者と家族の抱える身体的、心理的、社会的問題にも対応し、問題解決を図ることが重要になっている。そのためチーム医療の推進、家族や福祉サービス関係者等、患者以外との関わりの拡大によって、医師のコミュニケーション能力の向上も求められ、組織的、制度的に内容の充実した臨床研修を通じて医師としての基盤を作る必要がある。

2. 実習の基本方針

- (1) 各診療領域における診療、検査、禁忌、さらに現在進行中の研究について、症例について学習する。
- (2) 診療録を正確に記載する。
- (3) 症例についてのプレゼンテーションは診療に参加する上で欠くことのできないスキルであるため、指導医へのプレゼンテーションを繰り返す行う。
- (4) 症例についてまとめ、プレゼンテーションを行うことは医師として必要なスキルであり、その技能取得の一環として、担当症例について教授回診前のプレゼンテーションを行う。

教育成果（アウトカム）：

膠原病・リウマチ性疾患、アレルギー性疾患を有する患者の心身両面における症状と日常生活上の障害を理解するとともに、これらの疾患の適切な診断を行うために、医療面接、基本的診察手技及び検査法について実践的知識を身につける。加えて、疾患の病態を把握し、患者や家族と話し合い、適切な社会的及び身体的治療目標に到達するように包括的な治療方法の作成を修得する。

（ディプロマポリシー：1,2,4,6,8,9）

到達目標（SBOs）：

外来実習

1. 膠原病・リウマチ性疾患、アレルギー性疾患の診断・治療についての実践的知識を身につけるため、担当医指導のもとに患者に接し、対話（医療面接）の中から診断上必要な主訴、現病歴、既往歴などを聴取し、患者に関する医療情報を指導医に簡潔に説明できる。
2. 身体所見の基本的な項目とその意味を十分理解し、実習時に基本的な手技を施行

- し、異常所見を体験して説明することが出来る。
3. 外来患者の疾患の診断に必要な情報の収集、身体所見、採血結果の意義を理解し、個々の所見について理解し、適切な診断に到達できる。
 4. 医療スタッフとしての自覚を持ち、医師として患者に接する心構えや態度に留意し、患者や家族との円滑で十分なコミュニケーションを取ることができる。
 5. 以上のことを行うことで臨床医に要求されるスキルを身に付けることができる。

実習内容：

1. 実習内容

- (1) 準主治医として患者の病歴聴取
- (2) Systematic Review による異常所見の把握
- (3) 診断計画立案
- (4) 血液検査、尿検査結果の評価法と意義
- (5) 単純 X 線写真をはじめとする画像診断読影法の修得
- (6) 総合的診断方法、診断・治療に至る手段・思考過程を学ぶ
- (7) 治療計画立案（最も適した治療法の選択、患者の家族の治療に対する希望、予後推定）
- (8) 患者治療の管理（副作用予防および早期発見・早期対応、治療効果の評価、精神的ケア）

2. 症例検討

- (1) 受け持ち患者について指導医、主治医との検討
- (2) 教授回診での患者病態報告

3. 研究と交流

- (1) 各種講演会・勉強会
- (2) 各種医局行事

医局の研究に触れ、医局員との人間的触れあいを高める。

4. 具体的実習概要

- (1) 下記カンファランスへの参加

1) 症例検討会

- (2) 病棟診療研修

病棟担当医から担当患者を指定される。

日常の医療行為に参加する。教授回診での症例提示を行い、最終的に症例のまとめを発表し質疑応答を行う。

- (3) 外来診療研修

外来において病歴聴取を行い外来診療に参加する。外来担当医の指導で、診療に参加し実践的な知識を得る。

- (4) 指導内容

患者との接し方と診断の進め方に加えて以下の専門的手技についても学ぶ。

- 1) 膠原病の診断・治療の理解。

- 2) 下記基礎技術のトレーニング

①医療面接技法の理解と実践

- 3) 担当した症例について課題を与え自己学習を行う。プレゼンテーションを行い、課題に対する学習成果を発表し、フィードバックを行う。

注意：

Webclass に実践内容のポートフォリオを入力すること。内容を教員が評価し、随時フィードバックする。

授業に使用する機械・器具と使用目的

| 使用区分 | 使用機器・器具等の名称 | 個数 | 使用目的 |
|--------|--------------------------------------|----|-----------------|
| 視聴覚用機械 | 液晶テレビ (LC45BEIW) | 1 | 教育用ビデオ・DVD の供覧 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン一式 (2.16GHz IntelCore2Duo) | 2 | 講義・実習における指導 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン一式 (VGN-G1KAP) | 1 | 講義用 |
| 視聴覚用機械 | パワープロジェクター一式 (SX6) | 1 | 講義・実習における指導 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン (CF-R6M) | 1 | 講義資料提示用 |
| 視聴覚用機械 | コピー機 (IMAGIO C3500) | 1 | 講義実習用資料作成 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン (CF-WCWHAXS) | 1 | 講義・実習での資料作成 |
| 視聴覚用機械 | パソコン一式 (iMac24 インチ) | 1 | 講義実習用資料作成 |
| 視聴覚用機械 | パソコン (PANB100HNL) | 1 | 講義実習用資料作成とプレゼン |
| 視聴覚用機械 | 液晶 TV REGZA (32H7000) | 1 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | ルータ (SRT100) | 1 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | パソコン (PC-MY30AEZ556T6) | 1 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | iMac27 インチ (Z0JN CTO) | 1 | 講義実習用資料作成 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン (MacBook Air) | 1 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | デスクトップパソコン (EPSON MR4100) | 1 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | デスクトップパソコン (AT991E) | 1 | 講義実習用資料作成 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン(MD711J/A) | 1 | 臨床実習症例検討、講義資料作成 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン(SVP11219DJB) | 1 | 臨床実習症例検討、講義資料作成 |
| 視聴覚用機械 | デスクトップパソコン(OptiPlex 3020) | 1 | 臨床実習症例検討、講義資料作成 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン(59399498) | 2 | 臨床実習症例検討、講義資料作成 |
| 視聴覚用機械 | i P a d Air2(MGLW2J/A) | 1 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | リンクステーション(LS420D0802) | 1 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン Inspiron 5749 | 1 | 講義資料作成 |
| 視聴覚用機械 | デスクトップパソコン (EY029460) | 1 | 臨床実習における症例検討 |
| その他 | カラー複合機 (ApeosC2061) | 1 | 講義実習用資料作成 |